

エネルギー・資源 (第30巻) 総目次 2009年 Vol. 30 No. 1 ~ 6

・分類は下記によった。

- | | | | | |
|----------------|------------------|--------------|--------------------|------------|
| (1) 巻 頭 言 | (2) 新 春 座 談 会 | (3) 技術賞内容紹介 | (4) 展 望 ・ 解 説 | (5) 特 集 |
| (6) シ リ ーズ 特 集 | (7) 研 究 論 文 要 旨 | (8) 技 術 報 告 | (9) あ・なるほど!ナレッジネット | (10) 見 聞 記 |
| (11) 書 評 | (12) グ ル ー プ 紹 介 | (13) 技術・行政情報 | (14) 談 話 室 | (15) そ の 他 |

(1) 巻 頭 言

(題 目)	(所 属) (執筆者)	(頁 数)
新年のごあいさつ	大阪ガス(株) 中 谷 秀 敏	Vol. 30 No. 1 - 1

(2) 新 春 座 談 会 (今回はメール討論を実施した)

地球温暖化：その科学的真実を問う	米国アラスカ大学 赤祖父 俊 一 横浜国立大学 伊 藤 公 紀 (独)国立環境研究所 江 守 正 多 (独)海洋研究開発機構 草 野 完 也 東京工業大学 丸 山 茂 徳 (コーディネーター) 京都大学 吉 田 英 生	Vol. 30 No. 1 - 3
地球温暖化：その科学的真実を問う (2)	〃	Vol. 30 No. 2 - 1

(3) 技術賞内容紹介

集中連系向け太陽光発電用単独運転検出技術	オムロン(株) 馬 淵 雅 夫 〃 坪 田 康 弘 〃 今 村 和 由	Vol. 30 No. 5 - 1
----------------------	---	-------------------

(4) 展 望 ・ 解 説

我が国のエネルギー政策について	経済産業省 星 野 光 明	Vol. 30 No. 1 - 23
これからの地球温暖化対策について：第一約束期間とポスト京都議定書	筑波大学 内 山 洋 司	Vol. 30 No. 2 - 20
オバマ新政権のエネルギー環境政策：グリーン・ニューディールの虚実	(財)電力中央研究所 鈴 木 達 治 郎	Vol. 30 No. 3 - 2
熱電発電技術の現状と将来の展望	(独)産業技術総合研究所 舟 橋 良 次	Vol. 30 No. 4 - 1
波力発電の現状と動向	(株)ジャイロダイナミクス 神 吉 博	Vol. 30 No. 4 - 5
量子ビームテクノロジー研究開発の概要とJ-PARC計画	(独)日本原子力研究開発機構 岡 田 漱 平	Vol. 30 No. 5 - 6
我が国クリーンコール政策の新たな展開	経済産業省 國 友 宏 俊	Vol. 30 No. 5 - 13
低炭素社会に向けた超電導技術の展望	住友電気工業(株) 佐 藤 謙 一	Vol. 30 No. 6 - 1

(5) 特 集

【特 集】水素製造・貯蔵・輸送の現状と展望

(1) 水素の現状と将来	東京農工大学 桜 井 誠	Vol. 30 No. 1 - 26
(2) 化石燃料からの水素製造	新日本石油(株) 橋 本 康 嗣	Vol. 30 No. 1 - 28
(3) 水からの水素製造1：水電解	元三菱商事(株) 原 田 幸 幸	Vol. 30 No. 1 - 32
(4) 水からの水素製造2：熱化学分解法	(独)日本原子力研究開発機構 久 保 真 治	Vol. 30 No. 1 - 36
(5) 水素を中心とした微生物によるバイオ燃料製造技術	広島大学 中 島 田 豊	Vol. 30 No. 1 - 41
(6) 高圧水素	岩谷瓦斯(株) 西 尾 尚 道	Vol. 30 No. 1 - 45
(7) 液体水素	(社)資源協会 (元日本エア・リキード(株)) 花 田 卓 爾	Vol. 30 No. 1 - 49
(8) 合金および無機材料による水素の固形化	日本大学 西 宮 伸 幸	Vol. 30 No. 1 - 54
(9) 有機ハイドライド	東京理科大学 斉 藤 泰 和	Vol. 30 No. 1 - 58

【特 集】サステナビリティ学の創生

(1) IR3Sによるサステナビリティ学の創生とグローバル・メタネットワークの形成	東京大学, IR3S機構 小宮山 宏	Vol. 30 No. 2 - 24
(2) 社会経済システムの改編と技術戦略：課題と展望	京都大学 武 内 和 彦	Vol. 30 No. 2 - 29
(3) エコ産業技術の開発と社会システムの研究	大阪大学 井 盛 通	Vol. 30 No. 2 - 33
(4) 持続的北方生物生産システムの展望	北海道大学 齋 藤 裕	Vol. 30 No. 2 - 39
(5) アジア・太平洋地域に対する気候変動の影響と適応策	茨城大学 三 村 信 男	Vol. 30 No. 2 - 44
(6) サステナブルな社会構築のための人材育成と大学の役割	東京大学 味 埜 俊 治	Vol. 30 No. 2 - 48
(7) 低炭素社会実現に向けた挑戦	昭和シェル石油(株) 小 貫 元 雅	Vol. 30 No. 2 - 53
	伊 藤 智 明	

【特 集】排出量の見える化、カーボンフットプリントとオフセット

(1) 経済産業省におけるカーボンフットプリント制度構築への取組	経済産業省 中 村 大 紀	Vol. 30 No. 3 - 7
(2) 菌磨剤でのカーボンフットプリント試行事例	ライオン(株) 岡 田 淳 吾	Vol. 30 No. 3 - 9
(3) コクヨグループのカーボンフットプリント試行事例	コクヨ S & T(株) 武 内 計 憲	Vol. 30 No. 3 - 14
(4) 「食」におけるCO ₂ 排出量の「見える化」	東北大学 齋 藤 雅 典	Vol. 30 No. 3 - 17
(5) 我が国におけるカーボン・オフセットに関する制度構築の動向	(社)海外環境協力センター 加 藤 真 真	Vol. 30 No. 3 - 21
(6) 日本におけるカーボンオフセットプロバイダーの取組み動向	カーボンオフセット協会 蜂 須 賀 祐 大	Vol. 30 No. 3 - 25
	辻 本 大 輔	
(7) “カーボン・オフセットブーム”の中での環境対応 — イベント実務の現場から —	(株)電通 比留間 雅 人	Vol. 30 No. 3 - 30

【特 集】需要家サイドからの低炭素社会の実現

(1) 家庭部門および業務部門の需要構造と省エネルギー技術	(財)電力中央研究所 中 野 幸 夫	Vol. 30 No. 4 - 8
(2) 照明省エネルギー技術の変遷と今後の展望	パナソニック(株) 明 星 稔	Vol. 30 No. 4 - 13
(3) 低温排熱を利用した空調技術	東京農工大学 秋 澤 淳	Vol. 30 No. 4 - 19
(4) 自然冷媒CO ₂ ヒートポンプ給湯機の最新技術	(株)デンソー 川 村 進	Vol. 30 No. 4 - 25
(5) 再生可能エネルギー普及における課題とコージェネレーションの活用	東京ガス(株) 進 士 誉 夫	Vol. 30 No. 4 - 29
(6) 低炭素型ライフスタイル実現にむけた省エネ教育と省エネ支援ツールの必要性	東京電力(株) 木 方 真理子	Vol. 30 No. 4 - 32

【特集】情報化の進展と省エネルギー・低環境負荷社会への取り組み

(1) 総論—情報化の進展と低炭素排出社会	東京理科大学	森 俊 介	Vol. 30	No. 5	23
(2) 寒冷地の冷熱エネルギーを活用した地域間エネルギー統合によるデータセンターのCO ₂ 排出削減	電気通信大学 〃 〃 東京理科大学	津 田 俊 順 野 市 森	Vol. 30	No. 5	28
(3) 携帯電話キャリアの環境負荷低減への取り組み					
「通信設備の省電力化および携帯リサイクルへの取り組みと課題」	KDDI(株)	安 田 豊	Vol. 30	No. 5	34
(4) ICTの環境負荷低減への取り組み	富士通(株)	端 谷 隆 文	Vol. 30	No. 5	40
(5) 情報化の進展による我が国の社会・経済の構造的変化と環境影響評価	(独)産業技術総合研究所	松 本 光 崇	Vol. 30	No. 5	46
(6) IT革新と世界経済の構造変化	湘南エコノメトリクス	室 田 泰 弘	Vol. 30	No. 5	50
(7) 情報化の進展と低環境負荷社会へ向けての課題	NTTアドバンステクノロジー(株)	西 史 郎	Vol. 30	No. 5	55

【特集】基盤産業としての石油産業の未来

(1) 石油産業の現状と課題	石油連盟	西 川 輝 彦	Vol. 30	No. 6	6
(2) 主要産油国の動向 ～サウジアラビアとロシアの動向を中心に～	(財)日本エネルギー経済研究所	小 林 良 和	Vol. 30	No. 6	12
(3) 石油資源の確保：素朴地政学と市場原理主義はともに適切でない	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	石 井 彰 彰	Vol. 30	No. 6	18
(4) 石油産業における新燃料の動向	(独)産業技術総合研究所 〃	後 藤 新 光 晴	Vol. 30	No. 6	24
(5) 次世代に向けた革新的石油精製技術開発	(財)石油産業活性化センター	酒 井 真 人	Vol. 30	No. 6	27
(6) グリーンリファイナー（環境対応型製油所）を目指した技術開発	(財)石油産業活性化センター	小 林 一 典	Vol. 30	No. 6	31
(7) 製油所における水素製造と供給システム	(財)石油産業活性化センター	林 宏	Vol. 30	No. 6	35

(6) シリーズ特集

明日を支える資源 (114) <連載：資源と金属材料をつなぐサプライチェーン①>					
電線導体用材料の循環と課題	(社)電線総合技術センター	久 米 伸 一	Vol. 30	No. 2	58
明日を支える資源 (115) <連載：資源と金属材料をつなぐサプライチェーン②>					
ステンレス業界から見た資源問題の現状と課題	新日鐵住金ステンレス(株)	久 保 雄 司	Vol. 30	No. 3	35
明日を支える資源 (116) <連載：資源と金属材料をつなぐサプライチェーン③>					
鉄鉱石資源の現状	新日本製鐵(株)	長 野 研 一	Vol. 30	No. 4	37
明日を支える資源 (117) <連載：資源と金属材料をつなぐサプライチェーン④>					
自動車のリサイクリング	トヨタ自動車(株)	大 野 満	Vol. 30	No. 5	60
明日を支える資源 (118) <連載：資源と金属材料をつなぐサプライチェーン⑤>					
総論：サプライチェーンと資源問題	(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構	澤 田 賢 治	Vol. 30	No. 6	40

(7) 研究論文要旨

住宅用パッシブ型水素吸放出システムに関する基礎研究	北海道立工業試験場 北海道大学 〃 北海道ガス(株) 北海道大学	白 土 博 康 濱 田 靖 弘 須 田 孝 徳 後 藤 隆 一 郎 窪 田 英 樹	Vol. 30	No. 1	62
寿命分布を考慮した製品最適導入計画モデル —二酸化炭素の排出削減に向けたグリーンカーの導入分析—	横浜国立大学 〃	山 田 俊 介 本 藤 祐 樹	Vol. 30	No. 1	63
GIS/ELA-GISを用いた土地利用と食糧市場モデルによる温暖化の影響分析	東京理科大学 アクセシビリティ(株) NECソフトウェア	森 俊 介 加 藤 正 弘 井 戸 隆 文	Vol. 30	No. 2	63
前処理・糖化法の違いを考慮したセルロース系バイオエタノール製造プロセスの比較評価	(独)産業技術総合研究所 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃	佐 賀 清 崇 藤 本 真 司 柳 田 高 志 多 田 千 佳 ベスピャットコ リュドミラ ユリイブナ パティスタ エルマー 美濃輪 智 朗	Vol. 30	No. 2	64
わが国の貿易に伴うCO ₂ 排出量の推計	東北大学 埼玉大学	金 本 圭 一 朗 外 岡 豊	Vol. 30	No. 2	65
家庭用エネルギーエンドユースモデルを用いた我が国 民生家庭部門の温室効果ガス削減ポテンシャル予測	大阪大学 〃 〃 前大阪大学（現：パナホーム(株)） 大阪大学	下 田 吉 之 山 口 幸 男 岡 村 朋 子 谷 口 綾 子 山 口 平 平	Vol. 30	No. 3	40
国内外風力発電における電力供給バスのコスト比較	(財)エネルギー総合工学研究所 〃 川崎重工業(株)	渡 部 朝 史 村 田 謙 二 神 谷 祥 二	Vol. 30	No. 3	41
中国におけるCBM利用を取り入れたCCSの導入によるエネルギーシステム分析	(独)産業技術総合研究所 〃 〃 筑波大学	李 村 田 晃 伸 近 藤 康 彦 内 山 洋 司 田 頭 直 人 千 田 恭 子 谷 下 雅 義	Vol. 30	No. 4	43
受け手の知識に基づいたバイオマス発電に関する情報提供内容の解明	(財)電力中央研究所 〃	田 頭 直 人 千 田 恭 子 谷 下 雅 義	Vol. 30	No. 4	44
世帯電力需要量の価格弾力性の地域別推定 稲わらからのエタノール生産における非硫酸前処理法の プロセスエネルギーおよび経済性評価	(独)産業技術総合研究所 〃 〃 〃 〃 〃	柳 田 高 志 藤 本 真 司 秀 野 晃 大 井 上 宏 之 塚 原 建 一 郎 澤 山 茂 樹 美濃輪 智 朗	Vol. 30	No. 5	65
CO ₂ 削減技術としての燃料電池自動車とバイオエタノール燃料の環境影響評価	立命館大学	小 杉 隆 信	Vol. 30	No. 6	45

活性炭触媒再利用を考慮した鶏糞の超臨界水ガス化による

エネルギー転換システムとその経済性	(独)産業技術総合研究所	柳 田 高 志	Vol. 30	No. 6	- 46
	中国電力株	美濃輪			
	広島大学	清水村			
	東洋高圧株	野田			

(8) 技 術 報 告

炭素排出削減技術の副次的環境影響の予備的評価	立命館大学	小 杉 隆 信	Vol. 30	No. 3	- 42
大学キャンパスにおける二酸化炭素排出削減策の立案・実行	東京大学	迫 田 一 昭	Vol. 30	No. 4	- 45
—東京大学サステナブルキャンパスプロジェクト—		河 野 匡 啓			
		花 木 智 祐			
		野 城 智 也			
		磯 部 雅 彦			
環境都市水俣の温室効果ガス排出量の推定	熊本大学	田 中 昭 雄	Vol. 30	No. 5	- 66
		石 原 修 治			
省エネルギー対策住宅における省エネルギー・CO ₂ 排出量削減効果の実例分析	相模原市都市みらい研究所	桑 原 和 夫	Vol. 30	No. 6	- 47
	東京大学	山 本 博 憲			

(9) あ・なるほど！ナレッジねっと

理論熱効率だけで決まらない現在のエンジンデザイン	名古屋大学	大 坂 侑 吾	Vol. 30	No. 4	- 49
--------------------------	------------	---------	---------	-------	------

(10) 見 聞 記

IGRC 2008に参加して	大阪ガス株	岸 本 章	Vol. 30	No. 2	- 66
スイス連邦工科大学ローザンヌ校	早稲田大学	天 野 嘉 春	Vol. 30	No. 3	- 47
オーストラリア工学アカデミー (ATSE) 国際ワークショップ	(財)電力中央研究所	永 田 豊	Vol. 30	No. 4	- 52

(11) 書 評

地球と一緒に頭も冷やせ！ 温暖化問題を問い直す (ビョルン・ロンボルグ著, 山形浩生訳, ソフトバンク クリエイティブ株発行)	(財)電力中央研究所	永 田 豊	Vol. 30	No. 2	- 68
低炭素エコノミー 温暖化対策目標と国民負担 (茅陽一, 秋元圭吾, 永田豊著, 日本経済新聞出版社発行)	名古屋大学	小 林 敬 幸	Vol. 30	No. 3	- 49
天然ガスが日本を救う 知られざる資源の政治経済学 (石井 彰著, 日経BP社発行)	東京大学	藤 井 康 正	Vol. 30	No. 4	- 53
石油資源の行方 — 石油資源はあとどれくらいあるのか — シリーズ21世紀のエネルギー 8 (JOGMEC調査部編, コロナ社発行)	筑波大学	内 山 洋 司	Vol. 30	No. 6	- 57

(12) グループ紹介

株式会社 四国総合研究所	(株)四国総合研究所	綾 田 寛	Vol. 30	No. 3	- 50
大多喜ガス株式会社	大多喜ガス株	坂 田 陽	Vol. 30	No. 5	- 70
北野建設株式会社	北野建設株	竹 内 俊 樹	Vol. 30	No. 6	- 58

(13) 技術・行政情報

エネルギーセキュリティの定義に関わる論争	関西サイエンス・フォーラム	兼 子 次 生	Vol. 30	No. 2	- 69
ポスト京都の国際枠組策定に向けて	(財)電力中央研究所	長 野 浩 司	Vol. 30	No. 3	- 51
家庭用固体酸化化物燃料電池システム開発の動向	(株)三菱総合研究所	小 林 信 之	Vol. 30	No. 4	- 54
	(独)産業技術総合研究所	谷 本 一 美	Vol. 30	No. 5	- 71
	関西サイエンス・フォーラム	兼 子 次 生	Vol. 30	No. 6	- 59

(14) 談 話 室

普及が期待される再生可能エネルギー	東邦ガス株	中 村 泰 久	Vol. 30	No. 2	- 71
日常生活における見える化	(独)産業技術総合研究所	井 原 智 彦	Vol. 30	No. 3	- 53
スマートグリッドと情報技術の将来像の共通点	東京大学	坂 東 茂	Vol. 30	No. 4	- 56
大都市の異常気象と人工排熱を考える	法政大学	小 池 康 郎	Vol. 30	No. 5	- 72

(15) そ の 他

論文賞受賞論文要旨			Vol. 30	No. 5	- 5
-----------	-------	--	---------	-------	-----